

# ～検討委員会から提言～ 「野洲市が新病院を整備・運営 できる可能性」について

## 提言書の概要

去る7月11日、野洲市新病院整備可能性検討委員会(委員長／柏木厚典滋賀医科大学医学部附属病院長)から、「本市が新病院を整備・運営できる可能性があるかどうかについて」の提言書が市長に手渡されました。

### 1 新病院整備可能性検討委員会の検討結果

#### 1. 概要

野洲市における医療課題と今後の展望を明らかにして、市内に一定の役割を担う病院の必要性を再確認した。病院像を具体化した上で収支シミュレーションを行い、持続可能な病院経営が成立するかどうかを検証した。

#### 【新病院の役割】

- ・ 中軽度の症状で入院が必要な市内患者への対応
- ・ 大学病院などの急性期で高度な医療を担う病院と自宅療養の間をつなぐ役割(回復期医療)
- ・ 在宅医療を推進する上で診療所等の後方支援の役割(在宅医療の後方支援)

#### 【新病院像】

- ・ 10診療科等、対応可能な5

#### 疾病4事業

- ・ 医療療養型病床50床を含む199床の一般急性期病院
- ・ 野洲駅周辺に立地

施設整備費用約57億円(ただし、用地取得費・造成費・駐車場整備費を除く)

- ↓ 建築面積4400㎡、延床面積1万4925㎡、敷地面積5500㎡、7400㎡、立体駐車場3000㎡
- ↓ 医療機器10億円、情報システム(電子カルテ等)構築費3億5千万円

- 10診療科：内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、眼科、リハビリテーション科、人工透析、耳鼻咽喉科
- 5疾病：がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病、精神疾患
- 4事業：救急、周産期、小児、災害の各医療

#### 【収支見込み】

公立病院の平均的な実績データをもとに、市が直接新病院を整備・運営した場合のシミュレーションは、開院10年目に黒字転換できず、開院20年後の累積損益は5億円の赤字となった。しかし、材料費や委託料などを統計上の民間病院並みに調達できれば、開院10年目に医療収益、病院事業損益ともに黒字となった。

#### 2. 結論

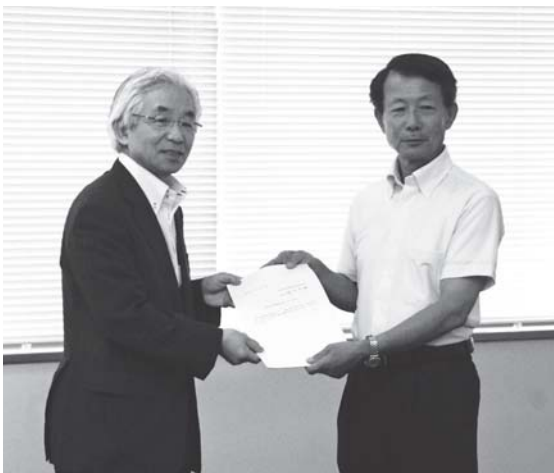
市が新病院を整備し、持続可能な運営ができる可能性はある。ただし、実現には次の条件や課題がある。

#### ▼整備する場合の主な前提条件

- ・ 野洲駅周辺に病院を立地
- ・ 材料費や委託料などを統計上の民間病院並みに調達
- ・ 病院運営に国の交付税算入相当額と市の一般財源から一定額の繰入
- ・ 病院経営の透明性と効率性が担保できる運営形態
- ・ 地域の医療需要と病院機能の一致
- ・ 医療スタッフの確保
- ・ 内視鏡センターの設置など特色ある病院づくり
- ・ 地域ぐるみで病院を育てようという機運の高まり

#### ▼懸念される外的要因の課題

- ・ 診療報酬の改定(2年毎)
- ・ 国の交付税算入ルールの変更
- ・ 消費税の増税
- ・ 償還金利の上昇



◆問い合わせ  
地域戦略室  
☎ 587 - 6141  
FAX 586 - 2200

# 新病院整備の可否 年内に方向性を明らかに

## 2 今後の市の対応

1. 前提条件の整理
- ① 立地場所
- ② 運営形態
- ③ 民間病院並みの材料等の調達
- ④ 市財政の中長期見通し

## 2. 外的要因課題の整理

病院経営シミュレーションは、現行制度を前提として設定されている。今後、診療報酬の改定や消費税の増税など将来への不確定要素も高いため、病院経営の不測の事態に備えられるよう市財政の健全化への取り組みを強化する。

## 3. 今後の検討課題

### ① 立地場所

▽野洲駅周辺に病院を立地することが条件であるため、より実現可能性の高い「野洲駅南口周辺整備構想検討対象区域内」での立地を想定。同対象区域内の配置は、『野洲駅南口周辺整備構想検討委員会』で、病院整備をする方針を決定した場合

を想定して検討する。

### ② 運営形態

▽市が直接運営する方法、地方独立行政法人を設置して運営する方法、指定管理者制度により運営する方法の内から、透明性・効率性を担保できる運営形態を検討する。

### ③ 民間病院並みの材料等の調達

▽医薬品や材料、委託料などを統計上の民間病院並みに調達が可能か、運営形態のあり方と併せて検討する。

### ④ 市財政の中長期見通し

▽市財政の中長期的な見通しの中で、病院事業予算の確保が可能か、市民サービス全体における地域医療の優先度を比較考慮して検討する。

## ★病院整備Q&A

**Q** 新病院整備は決定したのか？

**A** まだ、決まっています。検討委員会提言を踏まえ、新病院整備の条件をクリアするための検討を行い、12月を目途に（仮称）野洲市中核医

療拠点のあり方基本方針」を策定し、整備の可否を方向づける予定です。

**Q** 立地場所は野洲駅南口に決まったのか？

**A** まだ、決まっています。検討委員会提言で、立地場所は「野洲駅周辺とする方が多くの市民が利用しやすく、医療スタッフの確保にも有利である」と確認されました。駅周辺で新たに土地を取得し、一団の土地を確保することが困難であるために、野洲駅南口周辺整備対象区域内がもっとも実現性が高いと考えています。今後、野洲駅南口周辺整備構想検討委員会を対象区域内での立地の可能性を検討します。

**Q** 新病院の診療科は、10診療科だけなのか？

**A** 現状の市民ニーズ（受療動向）分析と病院規模や経営の効率性を考慮し、10診療科としています。病院整備が決定した場合には、基本計画等の策定段階で、その時点の市民ニーズ等を勘案し、決定します。

## ■検討スケジュール（予定）

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成25年 1月	2月	3月
可能性検討委員会	● 提言								
新病院整備可否判断							○	●	
①立地場所 (野洲駅南口周辺整備 構想検討委員会)	●	○	○		○				
②③運営形態	課題整理								
④市財政の見通し	課題整理								
市民の関心度	市民集会等の場などにより把握（随時）								
市議会都市基盤整備 特別委員会	●		●		●		●		
	(随時開催)				本会議で報告				